

## 会 議 要 旨

会議の名称	第4回川越市駅周辺まちづくり懇談会
開催日時	令和8年5月20日(水) 10時00分 開会 / 12時00分 閉会
開催場所	川越市役所本庁舎7A会議室
出席者(委員)氏名	座長 大澤 昭彦 委員 小嶋 文 ※オンライン参加 委員 三友 奈々 委員 湊 一成 委員 小武海 篤史 委員 高倉 修 委員 鈴木 健二 委員 東 徹 委員 野村 孝 委員 小澤 正興 委員 齋川 清美 委員 山下 正雄 委員 宮澤 和彦 委員 横田 昭 委員 藤井 裕介 ※代理出席
欠席者	なし
事務局職員職氏名	都市計画部長 都市基盤整備担当参事 都市計画課長ほか都市計画課職員5名 都市整備課長ほか都市整備課職員4名
会議次第	1 開会 2 議題 (1) 川越市駅周辺まちづくりビジョン(案)について (2) ビジョン策定後の進め方(案)について 3 その他 4 閉会

## 議 事 の 経 過

### 議題・発言内容・決定事項

#### 1 開会

#### 2 議題

##### (1) 川越市駅周辺まちづくりビジョン（案）について

事務局より資料をもとに説明。

##### (2) ビジョン策定後の進め方（案）について

事務局より資料をもとに説明。

#### <意見等>

(委員)

将来像に「東西が結ばれ」とあり、多くの方には、駅東西を一体化するまちづくりが必要であるとの認識があると思う。市民に対して、その位置づけを明確にして公表する必要がある。

(委員)

将来像に「東西が結ばれ」、取組方針1に「駅東西が一体化したまちづくり」とあり、駅東西が一体化するまちづくりを優先事項として取り組むというメッセージとなっているのではないか。

(委員)

今回策定しているのはまちづくりビジョンであるため、最初に「拠点にふさわしい魅力溢れるまちづくり」と大きな方針を掲げた上で、その後続いてまちの中での住環境や交通結節機能についての記載があると認識している。取組方針3で地域の方々にとっての長年の課題である交通結節機能の問題が挙げられ、また取組方針4でまちづくりの体制・主体について記載されており、川越市駅周辺のまちづくりビジョンとして相応しい形になったと考えている。

(委員)

過去の懇談会において、ビジョンを、川越らしいもの、温かみのあるものとしてほしいとの意見が出ていたかと思うが、それはよく反映されている。

(委員)

我々の子どもたちや将来にとって大事なことは、このビジョンをいかに実

現するか、ビジョンを利用してまちづくりが進むかどうかだと思ふ。

(委員)

資料はよくできているが、市民がこれを見てもわくわく感を持ってないと思ふ。課題を踏まえて、将来像、取組を設定するストーリーとなっていると思ふが、それが分かりにくい。ビジョン策定後の次の段階が見えるように、ビジョンの構成を整理いただきたい。

(委員)

まちづくりの取組は、優先順位どおりに進まないものである。優先順位が高いものから取り組むのが理想であるが、実際には社会実験を含むものから進めていく形になるのだろう。まちの変化を体感してもらうために、できることから早期に実施する、という内容も追加した方がいいと思ふ。

(委員)

市には、リーダーシップとスピード感をもって川越市周辺のまちづくりに取り組んでいただきたい。ビジョンはいいものになったと思ふが、ビジョンを策定したものの、実現されないままとなってしまつては寂しい。いかに実現するか、まちをよくするかを考えるべきだ。

(委員)

早く実現に向けて取り組まないと、時代の流れに合わないものになってしまう可能性がある。急いでやらないと気持ちが薄れることもあると思ふので、早く取組を進めていただきたい。

(委員)

暫定整備や暫定利用に当たっては、ワークショップや社会実験等を踏まえて、より地域に合った内容を検討いただきたい。

(委員)

ビジョンは地域の方々に伝わることに意義があると思ふので、こういったビジョンがあること、またビジョンを通じてある程度のイメージができるように再度見直していただき、最終的に取りまとめていただきたい。

### 3 その他

### 4 閉会

以上